

Анонии

DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017



DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017



William Klein

Yoshito Ohno

DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017



Clear Eyed Spirit

「たしかな心と眼」
ウィリアム・クライン ×
大野慶人 × アノニーニ
2017年12月15日[金]〜23日[土]
会場 寺田倉庫G1ビル・5階

DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017

2017.12.15fri - 23sat
Warehouse TERRADA G1-5F

ダンスアーカイブプロジェクトは、ダンスアーカイブの目的と可能性をさまざまな実験的な表現を通して、観客と共に考え、現代の舞踏文化を次世代に継承することを目指します。

「たしかな心と眼」 ウィリアム・クライン × 大野慶人 × アノーニ

日程 | 2017年12月15日[金]~12月23日[土]
会場 | 寺田倉庫 G1ビル-5階
時間 | 平日13:00~21:00 / 土日11:00~21:00 ※12月15日[金]15:00 からオープン
料金 | 12月15日[金] 15:00~21:00 展示、公演入場無料
12月16日[土] 11:00~21:00 展示、公演入場無料
※入場無料日についてご注意ください…12月15日と16日両日の展示「ダンスアーカイブの未来」大野慶人「花と鳥 抄」は観覧料無料です。当団体の活動趣旨にご賛同頂ける方には寄附によるご支援をお願い申し上げます。
12月17日[日]~12月23日[土] 展示観覧のみ 1,500円
12月17日[日]~12月20日[水] 展示と公演観覧 3,000円
12月21日[木]~12月22日[金] 展示と公演観覧 5,000円
入場者数が定員を越える場合は、入場を制限する場合があります。

Dance Archive Project in Tokyo 2017 Clear-Eyed Spirit

ライブ・パフォーマンス 2017年12月15日[金]~22日[金]	18 日	19 日	20 日	21 日	22 日
19:30- 大野慶人「花と鳥 抄」 ※終演後にオープニングパーティ	19:30- 川口隆夫とジョアンナ & ゲスト	19:30- 川口隆夫とジョアンナ & ゲスト	19:30- 川口隆夫とジョアンナ & ゲスト	19:30- アノーニ×大野慶人「たしかな心と眼」	19:30- アノーニ×大野慶人「たしかな心と眼」
13:00- 川口隆夫とジョアンナ & ゲスト 18:00- 大野慶人「花と鳥 抄」					
13:00- 川口隆夫とジョアンナ & ゲスト					

[チケット取り扱い]
□ e+ イープラス
・パソコン / 携帯から <http://eplus.jp> にアクセス
「Dance Archive Project in Tokyo」で検索!
・直接購入: ファミリーマート

[問合せ] NPO 法人ダンスアーカイブ構想
info@dance-archive.net tel: 03-3450-6507

[アクセス] 寺田倉庫 G1ビル
〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目6番10
・東京モノレール「天王洲アイル駅」
南口、中央口からいずれも徒歩約5分
・東京臨海高速鉄道 りんかい線「天王洲アイル駅」
出口Bから徒歩約4分

主催 | NPO 法人ダンスアーカイブ構想
共催 | Canta Co.Ltd
協力 | 大野一雄舞踏研究所、株式会社 K'S DESIGN LAB、株式会社間チルダ、
横浜光ボクシングジム、株式会社レイ、FIG LAB
協賛 | BNP パリ・グループ



William Klein

William Klein | ウィリアム・クライン
1928年ニューヨーク生まれ。ソルボンヌ大学で文学を修め、フェルナン・レジェに油絵を学ぶ。1953年より写真を始め。1961年来日し東京を撮影。1964年に写真集「TOKYO」を発表した。ウィンテージプリントの写真展示から、巨大出力、ペインティングと写真のコラボレーションなど常に斬新な手法で写真表現を提示してきた。

Yoshito Oino

大野慶人 | おおのよしと
1938年東京に生まれる。1959年土方翼の「禁色」で少年役を演ずる。60年代の暗黒舞踏派公演に参画。69年初りサイタル後に舞台活動を中断、85年「死海」で大野一雄と共演、カムバックした。86年以降大野一雄の全作品を演出。近作にヅッパタル舞踊団ダンサーとの共演「たしかな朝」(2010)、音楽家アントニーとの「Antony & Ohnos」(2010)。ソロ作品「花と鳥」(2013)はヨーロッパ(2014)、ブラジル(2015)、中国(2016)を巡演。著書に『大野一雄 魂の糧』(フィルムアート社)、『舞踏という生き方』(かんた)。

Anohni

Anohni | アノーニ
イングランド出身でニューヨークを拠点に活動。Antony & the Johnsonsで05年にリリースした「アイ・アム・ア・バード・ナウ」で英国最高峰の音楽賞マーキュリー・プライズを受賞。各国のオーケストラ、またルー・リード、チャールズ・アトラス、マリーナ・アヴラモヴィッチ、ビョーク等と共演する。2016年、ドイツのビーレフェルト美術館で展覧会開催、世界の珊瑚礁保護を呼びかける「Manta Ray」でオスカー賞にノミネートされた。最新アルバム『ホープレスネス』では、ハドソン・モホークとOPNと共演、ダンス音楽で環境破壊やドローン戦の害を訴えている。大野ファミリーから多大な芸術的恩恵を受けており、大野慶人の舞台上で歌えることを光栄に思う。

Takuo Kameguchi

川口隆夫 | かわぐちたかお
1996年よりDumb Typeに参加。2000年よりソロ活動を開始する。「ダンスでも演劇でもない、パフォーマンスとしか言いようのない」(石井達朗)作品を発表し続けている。主な作品に、「デイクノヴェスー見えないと言え」(2003)「D.D.D.私の心臓はあと何回鼓動して止まるのか?」(2004-07)。「また、土方翼の著作に基づく、「病める舞姫をテキストに-2つのソロダンス」(2012)を発表、東北ツアーを行った。

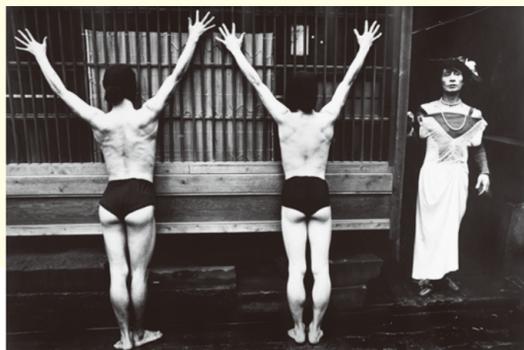
Johanna Constantine

Johanna Constantine | ジョアンナ・コンスタンティン
ニューヨークを拠点に、パフォーマンスアーティスト、振付家、DJ、フェミニズムアクティビストとして活動する。アノーニをはじめ、ウィリアム・バジンスキー(音楽)、マヌエル・アルバラン(デザイン)、テレンス・セラーズ(作家)等様々のジャンルのアーティストとコラボレーションする。また、チャールズ・アトラスの映像作品に参加、2013年にはテートモダンでライブ・パフォーマンスを行った。

Exhibition 展示

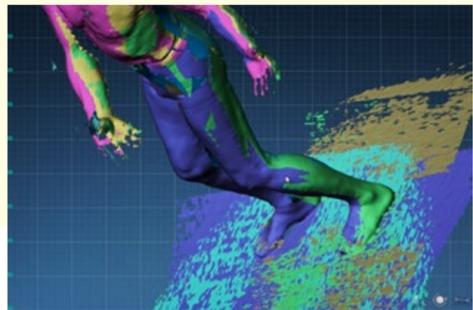
ダンスアーカイブの未来

Supported by BNP PARIBAS



大野慶人 「Digital 3D in Motion」

大野慶人の3Dスキャン人体計測と身体運動のモーションキャプチャーを応用する「動きのアーカイブ」。ヘッドマウントディスプレイで見るVR(ヴァーチャル・リアリティ)の形式で公開します。「戦火におびえるアフリカの子ども達に、祈りのダンスを届けたい」(大野慶人)。VRコンテンツ制作: 比嘉了(backspacetokyo) コンテンツ制作には、一部を(地独)東京都立産業技術研究センターと㈱ケイズデザインラボが技術開発(特許出願中)



大野慶人ソロ「花と鳥 抄」

12月15日[金] 19:30
終演後にオープニングパーティ(飲食は有料です)

12月16日[土] 18:00

土方翼が1985年に大野慶人のために振り付けた三つの踊りの一端を披露し、続いて細江英公監督による映画「へそと原爆」(1960)を上映する。再び、大野一雄「ラ・アルヘンチーナ頌」冒頭の「ディヴィーヌ抄」による「死と誕生」、さらに大野慶人自身の振付による「ウサギのダンス」を踊る。



ウィリアム・クライン 「TOKYO1961 アーカイブ」 ムービー & VR

伝説の写真家ウィリアム・クラインが、1961年銀座と新橋の路上で撮影した、土方翼、大野一雄、大野慶人のパフォーマンス画像627点をムービーとVRで世界初公開。ムービー制作: 齋藤正和。VRコンテンツ制作: 右左見拓人(backspacetokyo)。



Crab Dancers' Parade Work in Progress

川口隆夫と
ジョアンナ・コンスタンティン & ゲスト

12/16[土] 13:00 横浜光ボクシングジム現役ボクサー + 岡登志子(アンサンブル・ソネ)
12/17[日] 13:00 横浜光ボクシングジム現役ボクサー + 松岡大(山海塾)
+ 岡登志子(アンサンブル・ソネ)
12/18[月] 19:30 ソケリッサ+砂山典子
12/19[火] 19:30 松岡大(山海塾)+上杉満代
12/20[水] 19:30 松岡大(山海塾)+上杉満代

ウィリアム・クライン初公開画像627点から「無形の型」を読み取り、デジタル情報を生身の身体に引き写す、彫刻的作品制作を試みます。音楽ジョアンナ・コンスタンティン。



写真、美術、映像を観る



渡辺晃一作品 諏訪敦作品



ティム・ウォーカー作品 大野慶人「爪の孤独」(1969) 舞台美術

アノーニ × 大野慶人 「たしかな心と眼」

12月21日[木]・22日[金] 19:30-
2010年「Antony and the Ohnos」から7年。遂に再会を果たす二人。

「大野一雄との出会いによって、自分自身の中に聖なる幼児を発見し、その子を育て、抱きしめ、守ることが自らの願いになった」
(アノーニ)



DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017

DANCE ARCHIVE PROJECT IN TOKYO 2017